

# ヒトコム、順風満帆

## 1月末に株式分割実施へ



通信・家電分野に強い営業支援企業であるヒト・コミュニケーションズ(「ヒトコム」、3654・②)の業績が順調に拡大している。今8月期第1四半期(昨年9～11月)はモバイルやストアサービスが拡大。第2四半期(昨年12月～今年2月)以降の見通しも明るい。

第1四半期の連結売上高は49億6300万円、経常利益4億5900万円、最終利益2億5200万円となった。

上場初年度であるため前年同期比較はないが「実質増収増益、社内計画もクリアできた」(社長室)という。2月中間期計画と比較した進捗率は経常利益で56・1%となっている。アウトソーシング事業では家電やプロードバンドで苦戦したものの、モバイルは「iPhone( 아이폰)5」など新端末の効果もあって好調。前期に受注した次世代高速無線通信の加入促進の販売受託案件も寄与した。人材派遣ではストアサービス分野で関西地域でのファッション、コスメティック関連が伸びている。同社はかねてからブロードバンド、家電、モバイルなど通信、IT(情報技術)分野への依存度低下を目指してストアサービスなどを育成。今第1四半期は早く

もその成果が出始めている。決算発表と同時に1月末付で1対2の株式分割を実施することも発表。より幅広い層の投資家を呼び込むことが可能となりそうだ。株式分割に際して、配当は1株年42円から21円(うち中間配10・5円)に修正。1年1回、1000円のギフトカードを進呈する株主優待を実施しているため、総合利回りは4・6%(11日終値ベース)となる。